



とよころ

農協だより

煌

海と大地の祭典

とよころ産業まつり…… 2

JAアルプスより

「杵と臼」寄贈 …… 3

若き農業青年…… 4

イキイキ職員…… 4

花壇整備…… 5

地元野菜の美味しさ堪能！… 5

ミセス部会

本格ピザ作り体験…… 5

JAと協同…… 6

道肉用牛共進会最高位受賞… 8

編集後記…… 8

かがやき



平成27年11月

第188号

発行 / 豊頃町農業協同組合

編集 / 総務部企画課

中川郡豊頃町中央若葉町12番地
〒089-5235

TEL 015-574-2101

正組合員戸数 185戸

正組合員数 253人

平成27年10月1日現在

海と大地の祭典 とよこ産業まつり

九月十三日、豊頃町最大のイベント「海と大地の祭典とよこ産業まつり」が農協多目的広場にて開催されました。

今年はいいにくの雨模様の中行われ、例年より来客数は少ないのではと危ぶまれましたが、お昼時にはどの出店も長蛇の列となり、町内や十勝管内はもとより道内各地から一万二千人もの人々が来場しました。

会場には今年も町内特産物の販売店や飲食店が並んだ他、縁日コーナーや子供向けステージショー・とよこ太鼓・JA豊頃町女性部によるスコップ三味線・豊頃中学校吹奏楽部演奏会が披露されました。また、姉妹都市である滑川市のJAアルプスによるもちつき実演無料配布や、生きた秋

あじのつかみ取りなどのアトラクションも大いに盛り上がりました。産業まつり一番の見どころである歌謡ステージでは、歌手のピリケンさんと演歌歌手水森かおりさんをゲストに迎え、大迫力のステージショーに会場全員が魅了され、歓声と拍手で包まれました。

産業まつりは終日大賑わいとなり、みなさんそれぞれ思い思いに、過ぎゆく秋の一日を満喫していました。





JAアルプスより「杵と臼」寄贈

産業まつりではJAアルプスによる「もちつき実演無料配布」が大人気となっており、毎年長蛇の列をなしています。今年はJAアルプスより「杵と臼」を寄贈していただき、二臼でもちつきを行うことで多くの方々に振る舞うことができました。



当農協とJAアルプスとは平成12年より友好提携調印を結んでおり、これからも繋がりをより強固なものにし、交友を深めていきます。改めて、杵臼を寄贈していただき御礼申し上げます。



若き農業青年



統内地区

ひろ拓 さん
いづみ 泉

青年部では平成二十六年に青年部副部長を経て現在青年部長を務めています。

「青年部に加入してからは町内外問わず様々な繋がりができて今まで知らなかった情報が色々入ってきた。ゆくゆくはみんな経営者として営農していく中でそのようなネットワークが重要



今月号は統内地区の泉拓さんをご紹介します。一九八三年十二月二十日生まれ（三十一歳）です。
池田高校を卒業後、道立本別農業大学校に入学。養成科・研究科の計四年の課程を修了後に就農。今年で十年目となります。
「高校生の頃は肉牛の肥育もやっていて、家の手伝いは牛関係がメインだった。畑仕事に関してはあまり知識が無く、本格的に勉強し始めたのは本別農大での実習の他、祖父や父に教えてもらいながら覚えていった。」と就農当時のことを話してくれました。

になってくると思うので、これまでの青年部活動が今後活かされてくるのでは。」と話し、青年部長という役職について伺うと「至らないところもあるが、盟友達に支えられながらなんとかやれていると感じ、やりがいがある。他単組の青年部長と交流する機会が多いのでとても刺激になり、人間的にも成長できる場になっていると思う。」
今後のことについては「覚えていない仕事を身につけると共に、経営者として必要なことを勉強して準備を進めていきたい。」と話してくれました。

下キイキ 職員

今月号は、農産部農産課販売施設係の津田達矢さん（二十四歳）を紹介します。

出身は池田町で、平成二十二年に帯広緑陽高校を卒業後入組。農産係を三年・販売施設係三年目です。

現在の主な業務は加工馬鈴薯生産組合事務局、豆の買い付け、いちご苗の取り扱い、農産物検査（麦・豆の出荷前検査）を行っています。

販売施設係は倉庫事務所が拠点となっており、取材に行った際に係内の方に津田さんの普段の様子を尋ねると「日々組合員さんにかわいがられています」と返答があった他、取材中にも係内の方との和気あいあいとしたやりとりを聞くことができ、津田さんの親



しみやすい人柄が感じられました。
プライベートでは、小学校から続けている野球の他、「力カピカしてガヤガヤしている遊技場へ通うことが多いです（笑）」と話してくれました。また、今年の三月に結婚式を挙げたばかりの新婚ホヤホヤです。
最後に、「今後は新しいことにも積極的にチャレンジし、多くの知識を得て少しでも組合員の方々の力になれるように頑張ります。」と力強く語ってくれました。

地元野菜の美味しさを堪能!

花壇整備

すみれ部会は農業会館玄関前の花壇整備をしました。花壇は全長四十メートルで、今年の六月にはサルビア・マリーゴールドを含計二百四十本植えました。定植後は毎月肥料袋と草刈鎌を手に草取りを行い、赤と黄色が栄えた派手やかな花壇となりました。来年はどのような花壇になるのか楽しみです。



当日は、青年部員の指導のもと収穫体験を行う予定でしたが、雨で急遽中止となり、調理実習のみの体験となりました。収穫予定だったスイートコーン・じゃがいもは青年部の泉部長が収穫したものを、女性部が考案した「ポテトピザ・バナナスムージー」を参加した子供たちと一緒に作りました。子供たちは二班に分かれて作業し、



その中でもじゃがいもを薄くスライスするスライサーに苦戦。女性部員のアドバイスを聞きながら熱心に調理をしていました。試食の際には「おいしい!」「える夢キッズ最高!」という声が聞こえ、料理の楽しさや食材の美味しさを実感してもらうことができました。と思います。

ミセス部会

本格ピザ作り体験

ミセス部会（森たみ子部会長）は、七月二十二日に部員十九名で中札内方面へ日帰り研修を実施しました。

朝九時に農協を出発し、久しぶりの息抜きとなったためお互いの近況報告で賑わいを見せながら一時間ほどバスに揺られ、帯広市美栄町にある外山農場に到着。外山農場では六次産業に取り組んでおり、ファームステイや農場体験イベントとしてひまわりフェスタやイモコンツァーの開催・ポン菓子等の販売も手掛けています。はじめにゲ



ストハウスに案内してもらい今年の六月、農場内の菜の花畑で結婚式を挙げた『菜の花フライダル』の様子をまとめたDVDを鑑賞後、外にある「ピザ窯」を使いピザパーティーをしました。生地と具材は外山さんから、チーズはミセス部員で持ち寄り、思い思いにトッピングしながら焼き上げるまでを体験しました。昼食後、花畑牧場内にある北野武美術館を訪れ、独特の世界観を堪能しました。帰りに中札内の道の駅で買いたいがすっかり傘を用意しており、それぞれ目的のものを買うことができました。豊頃へ戻るバスの中でも話は尽きず、日頃の疲れをリフレッシュする一日になったかと思えます。

J A と 協 同

Part 4

農協法が改正されました

『農業協同組合法等の一部を改正する等の法律』は、平成27年8月28日、衆院本会議で与党などの賛成多数で成立しました。改正農協法の施行日は平成28年4月1日です。

◎ 経 過

平成26年5月に規制改革会議が『JA潰し』につながるような急進的な意見を発表。

<規制改革会議の意見>

○中央会制度の廃止・全農の株式会社化・准組合員の事業利用を正組合員の2分の1に規制・理事の過半は認定農業者、民間経営経験がある者等。

◆これに対し自民党農林議員らは、官邸、規制改革会議、農水省と調整を行い、平成26年6月に『与党とりまとめ』を策定。平成27年の通常国会に農協法の見直しを行う旨が明記される。

◆JAグループでは平成26年11月に自己改革プランを策定し、政府・与党に対し、自己改革の尊重を求めて折衝を重ね、平成27年2月、政府・与党から示された『法制度等の骨格案』を受け入れた。その後、自民党農林議員らは、法案の内容が『骨格』の枠を超えないよう、また、JAグループの考えを踏まえたものとなるよう政府と協議を重ねた。

◆4月3日に農協法改正案は国会に提出され、6月30日に衆議院通過、8月28日に参議院を通過しました。(ともに自・公・維賛成、民・共反対)

改正農協法のポイント

○ JAや連合会の事業運営原則の明確化

- ・目的は組合員や会員のための最大奉仕
- ・農業所得の増大に最大限の配慮
- ・高い収益性の実現と収益の事業利用分量配当などへの充当

○ JAの理事構成

- ・定数の過半数は、認定農業者や法人経営に実践的な能力を有する者など

○ 農協や連合会の組織変更等

- ・信用事業と共済事業を除いて、株式会社などへの組織変更が可能

○ 中央会制度の廃止

- ・農協法上の連合会に移行、JA全中は一般社団法人に移行（共に平成31年9月末までに）

○ JAの監査

- ・JAに対する全中監査の義務付けを廃止、公認会計士監査を義務付け（平成31年度から）

○ 准組合員の利用規制のあり方

- ・改正法施行日から5年間（平成33年の3月末まで）の正・准組合員の事業の利用状況と改革の実施状況の調査を行い、検討を加えて結論。

農業への打撃は？ TPP交渉大筋合意

また、環太平洋連携協定（TPP）交渉の参加国12カ国は、日本時間10月5日夜に米アトランタでの閣僚会合で大筋合意をしました。世界の国内総生産（GDP）の4割を占める巨大経済圏がアジア・太平洋地域に誕生するが、日本にとっては、自動車などの輸出拡大や輸入農産物の値下げなどの恩恵が期待できる一方、コメを無関税で輸入する特別枠新設や小麦・牛・豚肉関税の引き下げなどにより道内をはじめとする農業への影響が懸念されます。2013年には衆参両院の農林水産委員会で、コメ・麦・牛肉・豚肉・乳製品・ビートなどの甘味資源作物の重要5農産物を聖域とし、関税撤廃を認めないとする国会決議をしたが、今回の大筋合意では、関税撤廃こそされないものの、小麦9年、牛肉16年等、段階的に大幅な市場開放が進み、関税の大幅な削減は撤廃に等しい状況である。特に、TPP大筋合意で決まった農畜産物の関税削減の中でも牛肉と小麦の状況は大変厳しく、国益を損なうものです。

農協法改正・TPP大筋合意と

JA・組合員に対する逆風が吹き荒れる中、 今後の取組み

**JAの
最大の使命**

食と農を基軸として
地域に根差した協
同組合

**農家組合員にとっ
ての最大の目標は**

将来にわたり安全・安
心、新鮮な食料を供給し
続けること、そしてその
成果としての農業所得を
最大化すること

JAの使命

その目標を達成するた
め、組合員である農家に
奉仕し、支援すること
※JAは組合員の組合員
による組合員のための
組織であります

◎ 次代へつなぐ協同

東日本大震災や原発事故等を契機に、人と人がつながり合う『共同』の大切さが再認識されています。その一方で、行き過ぎた市場原理主義によって格差社会の拡大と地域経済の疲弊に拍車をかけ、人とのつながりのない無縁社会等が社会問題化しており、地域に根差した協同組合であるJAの役割発揮がこれまで以上に求められています。

改良レベルの高さ証明 道肉用牛共進会 最高位受賞

第31回 北海道肉用牛共進会

平成27年9月7日(月)



九月七日、第三十一回北海道肉用牛共進会が安平町の北海道ホルスタイン共進会場で開催され、道内各地から集まった自慢の肉用牛が骨格等の優劣を競い合いました。
本町からは肉用牛三頭が出陳し、並み居る強豪を抑えて見事(株)武隈ブリーディングファーム(武隈英和代表取締役)の「ひいらぎ5号」が未經産の部で最高位を受賞！七月に開催された十勝総合家畜共進会での最高位受賞に引き続き、本町の改良レベルの高さが全道でもトップクラスであることを実証しました。



また、美馬大介さんの「みほ号」、安田正志さんの「みつひめ号」が出陳され、以下の成績を収めています。

出陳者のみなさまお疲れ様でした。

改めまして、武隈さんおめでとうございました！

【第三部】

一等一席

ひいらぎ5号

(株)武隈BF

二等

みつひめ号

安田正志

【第七部】

二等四席

みほ号

美馬大介

編集後記

最近、ラグビーを好きになりました。きっかけはラグビーワールドカップであり、一番注目しているのが「五郎丸選手」です。名前が気になり過ぎて調査した結果、日本にはおよそ九九〇人の五郎丸姓がいます。多い順苗字ランキングでは第八二八位とのこと。そしてなんと、日本には一朗丸く九朗丸まで苗字があることが判明しました。他にも源五郎丸さんや弥五郎丸さんなどいることがわかり、衝撃です。これからも応援していこうと思います。

企画係 Y・K
企画係に配属され半年が経過しました。また不慣れなことが多い中でたくさんの方々と交流する機会が

あり、その度に仕事についても勉強させていただいています。
現状に甘んじることなく、何にでも食欲に挑戦する気持ちを忘れず、これからの日々を過ごしていきたいと思っています。

企画係 S・S
九月に行われた産業まつりもたくさんの方々の協力を頂き、当日は大盛況となりました。豊頃町野菜のおいしさを多くの方に知って頂けた嬉しさと、無事に終えることができた安心感でほっとしております。今年も残りわずかとりましたが、日々勉強をしながら皆さんと楽しい時間を共有できたらなと思っております。企画係 K・K

